

住宅の検査については、指定避難場所の学校等を優先的に行うため、たうえて検討したい。④災害時には飲料水の確保が極めて重要になることから、一部の市町村で飲料水兼用の防火水槽を設置したところもあるのが当町としても調査検討していきたい。⑤各学校には炊飯施設が整備されているので、これらで対応できる人数等を調査したうえて検討したい。⑥当面はそれぞれの避難場所に配分して保管したい。⑦これまで実施してきた9月の防災訓練や県中央防災センターでの研修等に今後検討を加え、組織の強化を図っていきたい。



毎年9月に行われる防災訓練

### 町内業者育成

問 町内で調達できる物品は町内業者から購入すべきと思うが、平成6年度については、特殊性のあるものを除くと約53%

を町内の業者から購入している。今後も町内業者育成の観点から町内業者を利用していきたい。

### 農業行政

問 国の新農業政策で町の基幹産業である農業は守れるのか。

答 農林水産省が平成4年に公表した新政策は、効率的かつ安定的な農業経営を育成し、これらの経営体によって農業生産の大宗を担う農業構造を確立することを目標としており、町でもこれを受けて、農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の策定作業を進めている。この基本構想では、農業者が自らの農業経営改善の意向を計画にまとめ、町がその計画の内容を基本構想に照らして適切であると認められた場合には税制、金融及び農地の利用集積などの優遇措置を受けることができる。この認定農業者制度は大規模な土地利用型経営のみならず複合経営や施設型経営といった多様なタイプを認定の対象として取り組んでいくことになる。したがって、この認定農業者制度の定着を図るため、趣旨の普及や説明会の開催並びに相談窓口の設置などで、できるだけ多くの認定農業者が誕生するよう努めていきたい。

また、数集落を単位とする営農組合設立を促進し、低コスト

化や省力化等による農業経営の安定に努める一方、稲作、園芸及び畜産の各経営研究会が策定する将来計画と基本構想との整合性を図りながら、町の基幹産業である農業の振興に努力して参りたい。

### 道路整備

問 老人ホームへの進入路と更にその先の道路は道幅が狭く車もすれ違いできない。拡幅できないか。

答 老人ホームも建て替えられ、4月からはホーム内にデイサービスセンター施設が開設され、小型バスが運行されるので、特に県道に接する進入路周辺の改善の必要性を感じている。また、その先については、坂田池公園整備と相まって検討を加えたい。

### 不況対策

問 不況対策として小規模工事を零細業者に発注してはどうか。

答 公共工事は、入札による発注が原則であるが、小さな工事については今後検討していきたい。

### 補助金制度

問 地域の盆踊り大会やレクリエーション大会等への補助金制度を設けてはどうか。

答 必要性の高いものについては検討したいが、航空機騒音対策補助金を各地域に交付しているので、できればこれらを活用していただきたい。

### 農業視察研修

問 農業自営者の海外視察研修を実施してはどうか。また、旅費の一部を助成できないか。

答 稲作、園芸、畜産の各部門ごとに農協や農業改良普及センター、農業振興会等で視察内容を調査研究していただき、できれば平成8年度から実施したいと考えている。



近代的な施設に建て替えられた養護老人ホーム